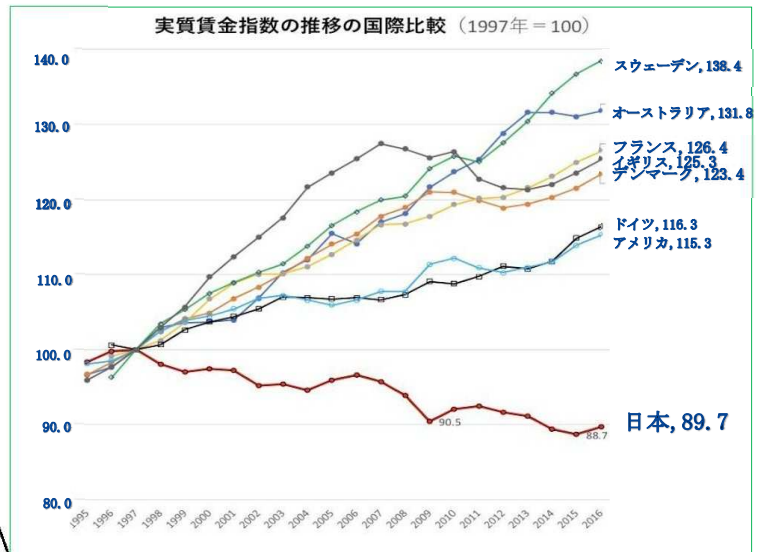


# 2020春闘で大幅な賃上げを！

日本企業は2000年代に入って、株主重視の経営への傾斜を強めてきました。いくら儲けても賃金に回さず、派遣・契約社員など非正規労働者を大量に雇い低賃金化を進めてきました。1999年以降の大企業の経営指数（99年度100）をみると2018年度は経常利益が314.4と大幅に伸びているのに対し賃金は105.2と横這いです。一方付加価値のうちの企業の懐に入る営業利益は279.4、株主への配当は600.3となっています。労働分配率は1999年度の62%から2018年度の50.4%で11.6ポイントも低下しているように日本ほど労働者が犠牲にされている国はありません。賃金が低迷しGDPの6割を占める個人消費が回復しないため、日本経済が停滞するのは当然です。安倍政権が進めてきた「世界で一番企業が活躍しやすい国」の結果がこの有様です。企業の内部留保は、449兆円となっており、その一部を取り崩すだけで大幅な賃上げは可能です。後退している生活を根本から転換するために、2020年春闘で大幅賃上げを勝ち取りましょう。



# 沿線自治体が望む日田彦山線の早期復活を！

2年前の西日本豪雨災害により不通となった、日田彦山線（夜明駅～添田駅間）は未だに復旧がなされていません。これまで復旧会議が開催されて、JR九州が①BRT②バス③鉄道の復旧案を提示しましたが、鉄道の場合は、沿線自治体に、毎年1億6千万円もの負担を求めるなどしたため合意はできていません。沿線自治体は、これまで多額の税金を投入されて株式上場した経緯からも、JRの責任で鉄道での全面復旧を望んでいます。

国労も日田彦山線だけの問題ではなくローカル線全体にかかわる問題であることから、沿線自治体の望む鉄道の復旧を求めています。

## 経営安定基金(3877億円)を株式上場時に使用！

- ①新幹線リース料20年前払い 2205億円
- ②無利子融資金 800億円
- ③鉄道のネットワーク維持のため 872億円



被災した筑前岩屋駅

「発行」 国鉄労働組合九州本部  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目9番3号  
ニッコーハイツ1003号  
TEL 092-483-1515